

# A la redécouverte de Jules Verne — gloire littéraire et succès publics —

日本ジュール・ヴェルヌ研究会主催、慶應義塾大学教養研究センター後援

## ジュール・ヴェルヌ再発見 — 作家と大衆作家

2017/10/22 [sun]

10:00 → 17:30

慶應義塾大学日吉キャンパス  
来往舎シンポジウムスペース

SF文学の祖、冒険旅行小説作家として知られる  
ジュール・ヴェルヌですが、  
今日、そうしたレッテルにとらわれない  
ヴェルヌの読みが問われています。  
ヴェルヌ研究の第一人者フォルカー・デース氏を招き、  
諸作家の専門家とともにヴェルヌの  
大衆性と文学性について、  
また、21世紀にヴェルヌを読むことの意義を考えます。

[フォルカー・デース]

1964年、ブレーメン生まれ。ゲッティンゲン在住。  
ゲッティンゲン大学、ナント大学で文学・美術史・哲学を学ぶ。  
ジュール・ヴェルヌ協会会報編集長、  
ジュール・ヴェルヌ国際センター会員。  
著書に『ジュール・ヴェルヌ伝』石橋正孝訳(水声社)、『ヴェルヌ研究書誌ガイド』(未訳)ほか。

[プログラム]

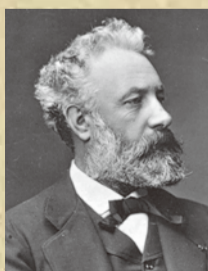
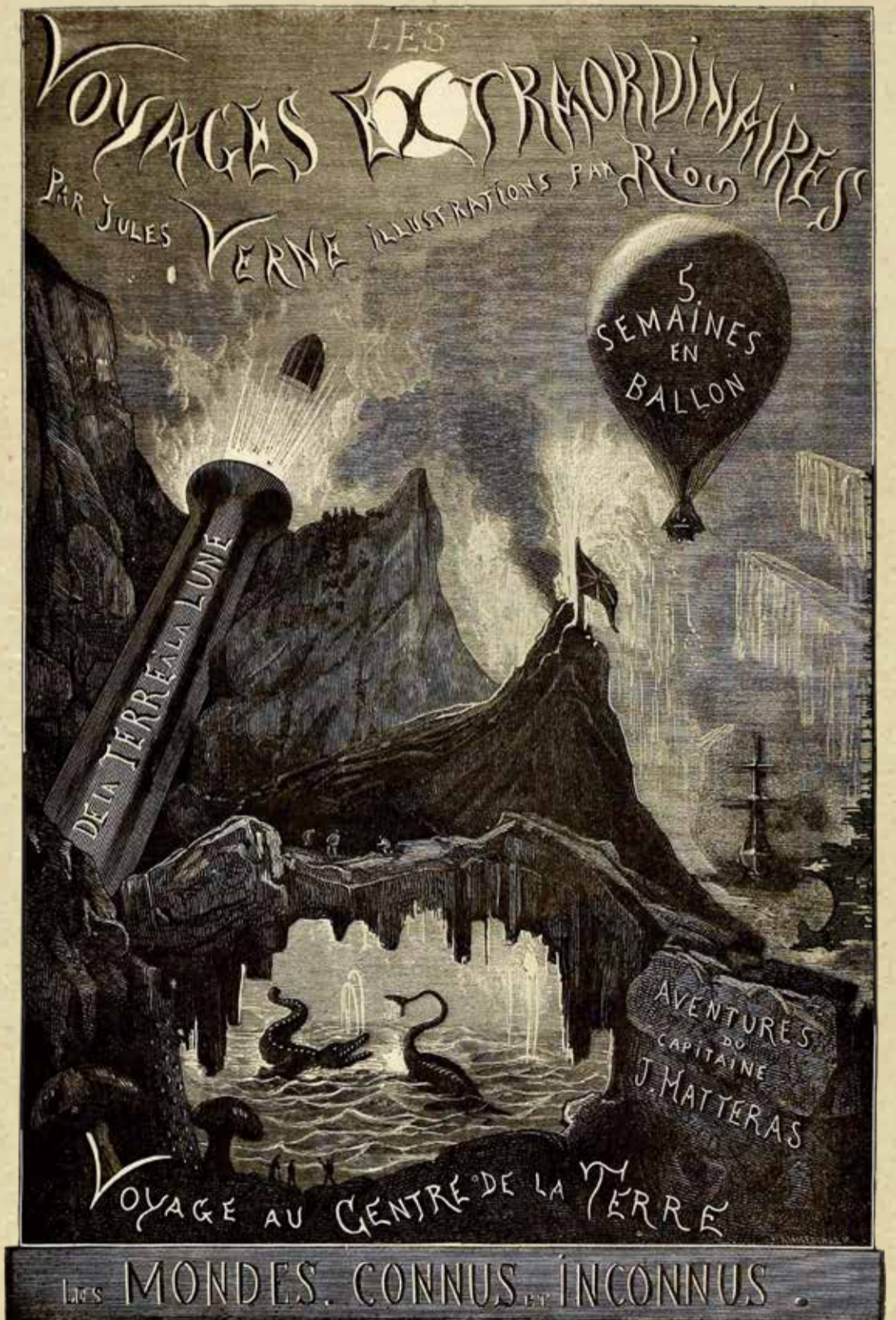
10h00	三枝大修(成城大学)	ヴェルヌとロートレアモン
10h40	荒原邦博(名城大学)	ヴェルヌとマルセル・ブルースト
11h20	新島進(慶應義塾大学)	ヴェルヌとレーモン・ルーセル
13h20	石橋正孝(立教大学)	ヴェルヌとコナン・ドイル
14h00	島村洋二(日本ジュール・ヴェルヌ研究会)	ヴェルヌとスタニスワフ・レム
14h40	フォルカー・デース	ヴェルヌとE・T・A・ホフマン
15h20	識名章喜(慶應義塾大学)	ヴェルヌとクルト・ラスヴィッツ
16h00	巽孝之(慶應義塾大学)	ヴェルヌとエドガー・アラン・ポー

※発表タイトルはすべて仮です

16h50 座談「今、ヴェルヌを読むことの意味」デースほか

入場自由、無料

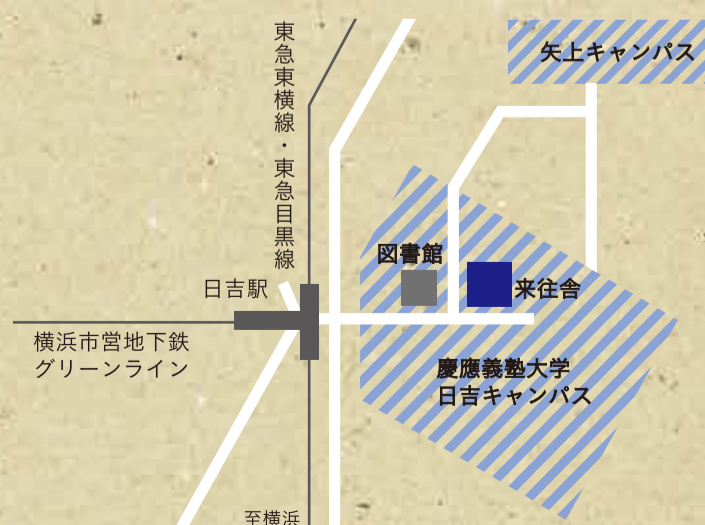
発表は日本語。デース氏については和訳原稿を配布予定



Jules Verne



Volker Dehs



[会場]

神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1  
慶應義塾大学日吉キャンパス  
来往舎IFシンポジウムスペース

○横浜市営地下鉄グリーンライン  
○東急東横線・東急目黒線  
「日吉」駅下車、徒歩2分

渋谷～日吉：22分(急行約18分)  
横浜～日吉：16分(急行約11分)  
新横浜～菊名～日吉：約19分

[問い合わせ先]

日本ジュール・ヴェルヌ研究会  
<http://julesverne.jpn.org/>  
[info@julesverne.jpn.org](mailto:info@julesverne.jpn.org)